

欠番 11.0.2

【解説】

「欠番」は、表示されていない数字を探すゲームです。

画面に9個表示される2桁の数の1の位の数字を見て、0から9の数字の中でこれらに含まれない数字のキーを押してください。これを10回正解するまでの経過時間が成績になります。

時間を掛ければ何の困難も無い問題なのですが、時間を競うようになっているので慌てているとミスが発生しやすくなります。

疲れて注意力が低下している時などは目に見えて成績が低下して、調子の良い時と悪い時の差が歴然と現れたりします。

【操作】

起動するとUnityPlayerの設定画面になります。

Screen resolution：リストからウインドウサイズを選びます。640×480が標準で、ここで4:3以外の縦横比のサイズを選んだ場合はウインドウ内に余白が発生します。

Windowed：このチェックを外すとフルスクリーン表示になりますが、この際は実際の画面と同じ縦横比のサイズを選ばないと表示が歪みます。

Graphics Quality：表示品質を選びますが、“High”が標準で、変更してもあまり変わらないと思います。

設定画面で、これ以外の項目は触らないでください。

“Play!”ボタンを押すとゲーム画面になります。後はゲーム内に説明が有ります。

【動作環境】

使用するOSによって複数の版があります。動作環境や版毎の制限事項については、別に添付している「動作環境について_Unity」というドキュメントを参照してください。

【インストール】

「欠番」は特にインストール作業を必要とはしません。どこからでも起動できるので適当な場所に置いておいてください。不要になった場合も単にファイルを削除するだけで構いません。

起動すると設定や成績記録のためのファイルを作ります。ファイルの場所は動作環境に依存します。

【配布条件】

「欠番」は、Freeware です。複製・配布は自由ですが、内容の変更等は出来ません。その他、一般的な Freeware のルールに従って下さい。

なお、配付に関しては自由に行って構いません。ネットワークへのアップロードやCD-ROM等への掲載等、どのような媒体に転載する場合でも、作者の承諾は不要です。

【開発環境】

「欠番」は、Unity2017.4.40f1で作成されています。

【バージョン履歴】

2022.03.28 11.0.2

細かな動作の調整

2021.07.19 11.0.1

画面表示の微調整

2020.12.04 11.0.0

Unity2017に移行

2020.06.27 10.0.0

初版

2022.3.28 竹内 (Macの変人) 喜代志